

4-4 史料編纂室

4-4-1 はじめに

分子研は昭和 50 年に基礎研究を目指した大学共同利用機関として設立され、平成 17 年に創設三十周年を迎えた。その翌年に史料編纂室が設けられ（平成 18 年 1 月）、アーカイブズ活動を進めている。分子研創設に至る経緯には約 15 年間の長い歴史がある（表 1）。史料編纂室では、分子研がどのような経緯で創設に至ったか、また分子科学がどのような経緯で発展したか、特に創設第一期（最初の十年間）の状況はどうだったかなど、歴史的な資料（史料）の収集に努めている。さらにそれらの史料を調査・整理し、目録を作成して史料室に保管するというアーカイブズの作業を進めている。

これまで収集された分子研に関する史料は、創設に至る歴史（表 1）に従って分類され、詳しい目録が作成されている（分子研レポート 2006，分子研レポート 2007）。大別すると、次のように分類される。1)日本化学会将来計画委員会の議事録など、2)日本学術会議による分子研設立の勧告、3)分子研小委員会の議事録（大学附置研の構想）、4)学園紛争後の小委員会の議事録（全国共同利用研の構想）、5)「分子科学」特定研究、6)分子研準備室時代、7)分子研の設立と第一期（十年）など。

表 1 分子研創設に至る経緯

昭 36	「分子科学」総合研究（代表小谷正雄）
昭 38-40	日本化学会・将来計画委員会（6 研究所）
昭 40	日本学術会議からの勧告（総理大臣へ）
昭 41	分子研小委員会の発足（「大学附置研」構想）
昭 45	同委員会の委員交替（「全国共同利用研」構想）
昭 46-47	「分子科学」特定研究
昭 48	学術審議会からの報告（内閣総理大臣へ）
昭 49	創設準備室
昭 50	分子研創設

4-4-2 最近収集された史料

1. 「分子研前史」長倉三郎（分子研レターズ 57, 平成 20 年 5 月号, p.8-11）
2. 中村宏樹（20.3.17 提供）分子科学サーキュラー（No. 5, 7, 13 を除く全て）
3. 小谷野猪之助（20.3.27 提供）(a) 分子科学若手グループ会報（昭 42-47）,(b) 分子科学若手グループの関連資料（昭 43-45）,(c) 分子研の設立に向けての資料（昭 43-44）,(d) 分子科学会会報（昭 42-45）,(e) 分子科学研究会に関する資料（昭 42-44）,(f) 分子研関係の冊子（昭 44）,(g) 新聞記事（素粒子研）（昭 43-44）
4. 井口洋夫（平 20.5.15 提供）(a) 「我が国学術体制に新しい流れを吹込む」（日本工業新聞, 昭 60.9.30）,(b) 「極端紫外光実験施設——分子の新しい機能開発」（科学新聞 昭 59.6.22）,(c) 「分子科学研究所の挑戦——新しい化学を追って」（ニュートン, 昭 58.6 号）,(d) 分子研関係の冊子 (1) 分子科学研究所（24 頁）,(2) 1979 分子研要覧（32 頁）,(3) 1976-1988 岡崎コンファレンス（8 頁）,(4) UVSOR（10 頁）
5. 井口洋夫（平 20.5.27 提供）(a) 「分子研の設立」推進委員会（赤松・長倉・井口, 昭 48.10.24）,(b) 「特定研究・分子科学」経過報告（昭 48）,(c) 「分子研（仮称）設立要望書ならびに設立案」（日本学術会議・化研連・分子科学小委員会, 昭 40.10）,(d) 「分子研概算要求第二次試案（創設費, 部門関係, 共通施設, 機器センター）」,(e) 「分子研概算要求第二次試案（大型研究関係, 部門通常経費, 大型研究経費, その他）」,(f) 「総合研究 B・分子科学」

経費，内訳：17項目（昭49.2.28），(g) 科研費補助金・総合B「分子科学」，昭48年度実績報告書-2，(h)「分子科学シンポジウム」案内（昭49.1.19，東大理学部化学），(i)「分子研小委員会報告」案内（昭49.1.15，赤松秀雄），(j)「分子研創設準備室の発足の予定」について（小委員会宛書簡，赤松秀雄），(k) 総合研究B「分子性結晶」に参加のお願い（研究分担者宛書簡，赤松秀雄），(l)「分子科学シンポジウム」案内（総合研究B班員宛，赤松秀雄，昭48.12.18），(m)「分子科学シンポジウム」案内（総合研究B班員宛，赤松秀雄，昭49.1.16），(n) 研究成果の報文別刷3部提出のお願い（特定研究班長宛，赤松秀雄），(o) その他。

6. 井口洋夫（平20.6.9提供）「分子研一般公開」ポスター（昭63）
7. 赤松康江（平20.7.8提供）(a) 写真アルバム3冊（分子研創設時代の写真および赤松秀雄初代所長送別会の写真など），(b) 英文書籍2冊。
8. 井口洋夫（平20.7.18提供）(a) 日英協力事業「分子科学」，(b) 日英協力事業「分子科学」資料，(c) 高橋重敏氏，吉川英治文化賞，(d) H. C. WOLF，(e) 分子研諸規定，(f) おかざき寺子屋教室，(g) 分子研コロキウムコロキウム，(h) 分子科学研究所の教授会議議事録，(i) 化学研究推進機構(案)，(j) 分子研リーフレット No.3（1976.10）
9. 井口洋夫（平20.10.10提供）(a) 岡崎コンファレンス関連の資料（58件），(b) 分子研シンポジウム，マリケン教授来所記念など（6件），(c) 分子研関係の新聞記事-1（38件），(d) 分子研関係の新聞記事-2（14件），(e) 諸規程（約25件），(f) 分子研創設十周年記念式典（昭60.5.10）式典資料10件。
10. 技術課（平20.5.8提供）(a) ビデオテープ13本，(b) 写真アルバム14冊。

4-4-3 総研大プロジェクトに参加したアーカイブズ研究会

アーカイブズに関する総研大プロジェクトの一環として基盤研究機関等において開催された種々の研究会や講演会に参加し，アーカイブズについての有益な情報が得られた。（括弧内の氏名は分子研の発表者）(a) 核融合研アーカイブズ全体会（平20.2.14，木村克美），(b) 総研大アーカイブズ全体会（東京，平20.6.11，木村克美），総研大アーカイブズ講演会（核融合研，平20.7.15），(c) 慶応大アーカイブズ講演会（慶応大，平20.7.25），(d) 研究会「公文書の扱い」（東大，平20.9.21），(e) 総研大アーカイブズ史料共有化研究会（核融合研，平20.11.5-6），(f) 総研大アーカイブズ研究会（国立天文台，平20.10.9），(g) 総研大アーカイブズ研究会（極地研，平20.10.16，木村克美），(h) 総研大アーカイブズ研究会（国文研，平20.10.30），(i) 総研大アーカイブズ研究会（宇宙科学研，平成20.11.13），(j) 慶応大アーカイブズワークショップ（慶応大，平20.11.18），(k) 総研大アーカイブズ研究会（生理研，平21.1.8，鈴木さとみ）

4-4-4 今後の方針

今後も引続いて，分子研に関する史料を収集し，オリジナル史料の複写およびデジタル化（PDF）を行うと同時に，総研大の基盤研究機関のアーカイブズと連携して，史料データ共有化（EAD化）の作業を進めていく予定である。また，分子研アーカイブズのホームページを開設する準備を進めたい。